

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 4月1日

事業所名 プロスペール

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		必要な備品等だけを出すようにして、整理整頓を場面ごとに行っております。	場面ごとの整理整頓をすることで、適切なスペースを作ることをご心掛けております。
	2 職員の配置数は適切である		100%	適切な配置になるよう努力しております。	SNSを通して、事業所の良さなどをアピールしております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%		ポイントごとに視覚提示をしております。また、個別にサポートをしながら提示を行っております。	お子さんの理解度に合わせて、視覚提示や 備品の配置など環境整備を行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%		空気清浄機を使っています。また、定期的な換気を行い、空気の入れ替えを実施しております。	感染症対策として、適切な環境整備を行っております。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	90%	10%	毎日、ミーティングでの情報共有を行っています。また、事例検討を行っております。	普段からお子さんの様子をよく見ることや一緒に取り組む機会を増やすようにしています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	70%	30%	日頃から保護者の方々とのやり取りを通して、保護者の方々の意向やご希望を伺っています。	コロナ禍のため個別面談の機会ができませんでしたが、今年は、個別面談を行えるようにして、直にお話を伺うように考えております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	70%	30%	毎年、自己評価表と保護者向け評価表の結果や評価内容をホームページで公開しております。	支援の質の向上やお子さんひとりひとりに対するサポートの在り方を踏まえるように心掛けております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		90%	10%	外部評価については、検討はしていますが、実施まで至っておりません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	90%	10%	社会福祉協議会主催の研修を中心に、参加の機会を確保しております。	支援につながる質の向上を目指し、事業所のカラーに合わせた研修を検討しております。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%		児発管が、お子さんや保護者様のご希望やこれからのことを踏まえて、いま必要なことを計画書に盛り込んでおります。	普段からお子さんや保護者様とのやり取り、スタッフからの報告を受けたうえで、お子さんの計画書に盛り込んでおります。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	70%			事業所のアセスメントシートでの評価を行っております。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	70%			お子様の課題やご家族の課題、通われる保育園等の課題をご家族や関係者との連携により、支援の必要な項目を選択し、具体的に個別での支援をするよう取り組んでおります。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%			行われています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	70%	30%	ミーティング報告やケース会議を通して、支援の在り方を情報共有しております。	御利用されているおこさんの成長とともに経験を踏んでいるスタッフがいないため 児発管と経験を踏んでいるスタッフでの活動プログラムの立案を行っております。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	90%	10%	お子さんの成長に合わせて、玩具やツールを変えております。	全体の活動は、基本長期休暇に限定しております。戸外活動で、多彩な経験を積んで頂いています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	100%		個別は「座って、楽しく遊ぶ」集団は、「ルールを守って、楽しく遊ぶ」を基本に、楽しく過ごす中で、学んでいくよう計画を作成しております。	普段からお子さんが選ぶ玩具や訓練ツールを観察して、遊び方や選び方を把握するようにしております。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		朝のミーティングで、情報共有を行っております。	前日の活動様子や気になることや気が付いたことを情報共有しています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	70%	30%	当日の活動は、次の日のミーティングの中の情報共有を行っております。	ひとり1人の来所から退所までの言動を通して、気になる点を把握しております。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		気になるケースは、検討会議を行っております。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%		児発管が、いま必要なことを定期的に計画書に盛り込んでおります。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	90%		児発管が、お子さんのこと、保護者のことをよく理解し、精通しているので参画しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	90%	10%	お子さんや保護者様の必要な支援の在り方を必要に応じて、各関係機関や関係者と連携をとっております。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			当事業所には、医療的ケア等の必要なお子さんはいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			当事業所には、医療的ケア等の必要なお子さんはいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		日頃からの保護者とのやり取りで、お子さんの将来について話し合い、就学相談と一緒に参加するようにしております。また、進学先の学校との情報共有を行い、新年度を迎えるようにしております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		日頃からの保護者とのやり取りで、お子さんの将来について話し合い、就学相談と一緒に参加するようにしております。また、進学先の学校との情報共有を行い、新年度を迎えるようにしております。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10%	90%	そういう専門機関がありません。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		100%	お子さんの差別的活動のなりかねないため ありません。	予定してません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		100%	とくにありません。	予定してません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		保護者様と日頃、連絡ツールを通して、情報共有をしております。	コロナ禍のため個別面談の機会ができませんでしたが、今年は、個別面談を行えるようにして、直にお話を伺うように考えております。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	80%		検討はしているもの実施に至っておりません。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	90%	10%	御利用を開始するときに、ご説明をさせて頂いております。また、変更やご相談があるときに、ご説明しております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%		基本的支援の在り方(ガイドライン)を踏まえ、当事業所での活動、支援内容をご説明しております。計画書に記載の上、同意を得ております。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		保護者様と日頃、連絡ツールを通して、情報共有をしております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10%	90%		ご家族様よりご要望がありましたら 対応していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		保護者様と日頃、連絡ツールを通して、情報共有をしております。また、情報共有できる部分は、スタッフと行い連携ができるようにしております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%	10%		2 保護者の方々には、LINEでの連絡等でお伝えしております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%		児発管が、情報を管理、必要な部分を判断して、情報共有を行っております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		お子さんに合わせた、伝達ツールを利用したり、保護者とのこまめなやり取りを行い、情報のすり合わせを行っております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		100%	地域との触れ合う機会はありません。	今のところ 予定しておりません。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%		年間を通して、定期的な訓練、勉強会を開催しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		年間を通して、定期的な訓練、勉強会を開催しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	90%	10%	保護者様から必要に応じて、ご説明を受けております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%		保護者様から必要に応じて、ご説明を受けております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%		作成して、共有を行っております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	90%	10%	毎年、管理者、職員交互に研修に参加しております。また、年に数回の事業所内研修を行っております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	90%		身体拘束については、保護者との話し合いで、お子さんの情緒や場面の聞き取りを行い、安全のほかり方を十分に説明し承しております。	